

第67代理事長 退任のご挨拶



第67代理事長 谷川 陽一

私が理事長に就任いたしました2020年4月より、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会全体における行動制限が顕著となり、これまでのクラブ運営とは異なる対応の必要があったため、結果的には2年にわたる任期となりました。期間中は、感染状況を見ながらの行事計画・実施であったため、計画立案の難しさ、急な予定変更など役員の皆様をはじめ、会員の方々にはご迷惑をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます。

理事長に就任した際に「20年後に向けた第1歩」というテーマを掲げさせていただき、今後も大阪薬業青年クラブが組織として継続的に存続していくよう、定年制や組織運営方法について議論を行ってまいりました。

菓子業界においても、中小零細企業の後継者問題、若手不足が想定される中、現在できうる対処策としてOBの皆様にはご迷惑をおかけしないよう配慮し、一定の結論をだせたかと思えます。

また先に触れましたように、結果的に2年にわたる任期となりましたため、今後の「クラブ運営の2年任期制」を、テスト的に実施できましたことは、コロナ禍における唯一の良かった点であったかと感じます。

定年制廃止、2年任期制は、これから実際に運用をしてみる中で、修正等必要になってくることも少なくないかと思えます。

後任の役員様には、今後も会員皆様のご意見に配慮し、よりよい組織運営につなげていただくとことを期待しております。

2022年に入り新型コロナの影響がなくなったわけではありませんが、国内外のこれまでの経験から、2年前の得体のしれない病原への対応とは異なる動きが広がっていき、社会的には様々な制限が取り除かれ、より以前の世界に戻っていくと推測されます。

大阪薬業青年クラブも、徐々にその流れにあわせ、会員相互の親睦、関係性を深めるべく各種行事が再開されることを切に願います。

また2024年にはクラブ創設70周年を迎えます。

次の2年任期において、70周年の準備も進めていかれるかと思えますので、私をはじめOB世代の会員様には、この70周年関連事業を成功させるべく、次期役員へできうる限りのサポートをお願いいたします。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝と社業のご発展を祈念いたしまして、甚だ簡単ではございますが、私の退任の挨拶と代えさせていただきます。

令和4年4月15日

大阪薬業青年クラブ 第67代理事長

谷川 陽一